

## 「ぐるっと茗荷谷・街たんけん(4)」

お茶の水女子大学附属小学校 田中 千尋

丸ノ内線の下をくぐるトンネルは、意外にも長かった。子どもはトンネルが好きだ。徒歩でトンネルを通る機会はあまりないので、もう全員大興奮で、まるで祭の行列のように大騒ぎしながら通過した。



この日は30℃超の暑い日だったので、涼しいトンネルの中は、ちょっと嬉しかった。幸い車は通らず、安全に通過できた。しかし、あまりのやかましさに、トンネル入口の工事警備員について叱られてしまった。まあ、私が子どもだったら、やっぱりキヤーキヤー言うにちがいない。



トンネルを抜けると、すぐに急坂が待っている。この坂は「庚申坂(こうしんざか)」といって、傾斜は25%以上。文京区の坂の中でもベスト5に入り、車で通行は不可、歩道も半分階段になっている。

庚申坂の下(トンネルの出口)が標高17.6m。一気に坂を上って、春日通りに出たところが26.9m。段丘崖の比高は9.3m。大したことはないように思えるが、東京都内の地形としては、大きな起伏といえる。



坂を上って「武蔵野台地」に戻ったところで、日陰で一休み。水分補給と「たんけんボード」のまとめをした。この地点で、全行程の約3分の2。ここから先は、春日通沿いの商業地を通過するので、「街たんけん」の本領発揮となる。たんけんボードにメモすることも多くなる。もう一度がんばるように「発気揚々」、出発することにした。



春日通りに入ると、実に平坦で実に広い。自動車販売店、ブティック、100円ショップなどが並ぶ。竹早交番の巡査長さんは、大勢の小学生の通過に驚きながらも、笑顔で挨拶に応じてくれた。有難いことである。

子どもたちは、バス停、点字ブロック、街灯、街路樹、標識など、建物やお店以外の存在にも気づき、たんけんボードはメモでいっぱいになっていった。